

# MY1B Series ダストシールバンド交換要領 1

## 1 分解

- a. ヘッドカバーの片側2ヶ所、両側で合計4ヶ所の止めねじ(点線内)を3回転程緩めます。
- b. エンドカバー(移動子の両側)の固定用六角穴付ボタンプルト2本を外して、エンドカバーを取り外します。なお、六角穴付ボタンプルトを取り外した時に、スペーサ・ストッパおよび両丸平行キーが落下する可能性がありますので、ご注意ください。(図-1・2参照)
- c. 反対側エンドカバーも同様に取外します。
- d. トップカバーを取外します。
- e. ダストシールバンドを抜き出します。

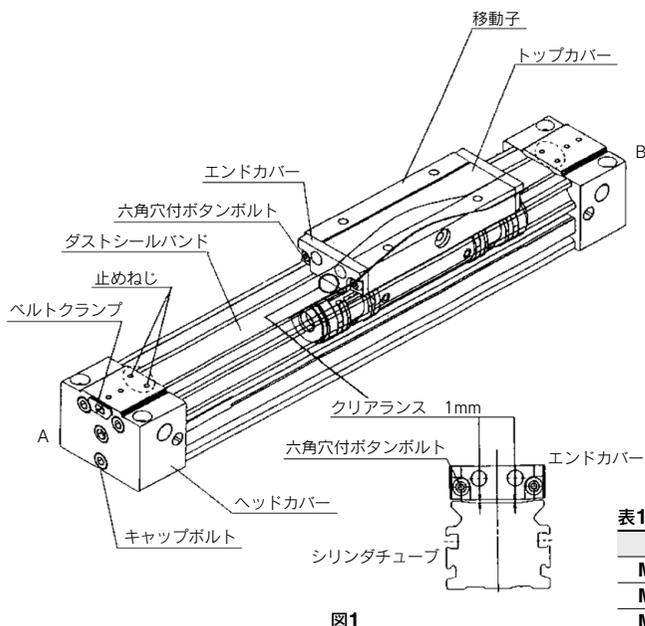


図1

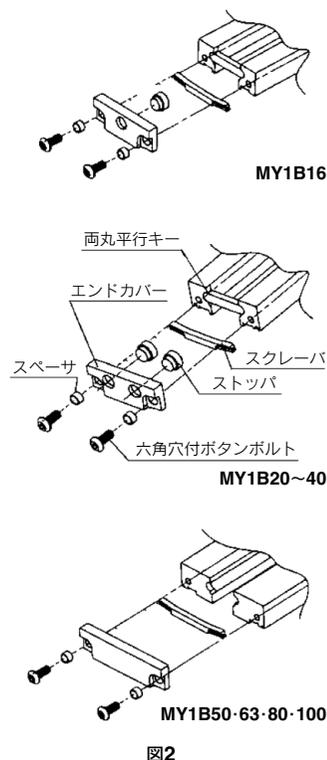


図2

表1 ダストシールバンド品番

品番	推奨長さ	品番	推奨長さ
MY10-16B-st	110 <sup>-0.1</sup> +st	MY40-16B-st	272 <sup>+0.2</sup> +st
MY16-16B-st	160 <sup>-0.1</sup> +st	MY50-16B-st	328 <sup>+0.2</sup> +st
MY20-16B-st	200 <sup>-0.1</sup> +st	MY63-16B-st	382 <sup>+0.2</sup> +st
MY25-16B-st	182 <sup>+0.2</sup> +st	MY80-16B-st	544 <sup>+0.2</sup> +st
MY32-16B-st	228 <sup>+0.2</sup> +st	MY100-16B-st	634 <sup>+0.2</sup> +st

注) 止めねじの処理色によって品番が異なりますので、ご確認ください。  
 (φ10, 80, 100を除く)  
 ・黒色亜鉛クロメート→MY※※-16B-ストローク  
 ・ニッケルめっき →MY※※-16BW-ストローク

## 2 組立

- a. 交換用ダストシールバンドは、ステンレス表面に付いている<sup>注1)</sup>マスキングテープ(黒色)をはがし、あらかじめベルトの両端に図4のようにマーキングをした上、全体に<sup>注2)</sup>グリスを塗布します。  
 (出荷時にはダストシールバンドを推奨長さにて出荷しておりますが、組付前に再度(表1参照)、ご確認ください。)
- b. 交換用ダストシールバンドを移動子内に置きます。
- c. エンドカバー Ass'y下部とシリンダチューブ上面とのクリアランスが1mm程度になる様に、エンドカバーを固定します。この時、六角穴付ボタンプルトの締付トルクは、表2を参照願います。反対側も同様に固定します。(図2)  
 エンドカバー固定時は、スクレーパ・スペーサ・ストッパ・両丸平行キー(φ16~φ40)が装着されていることを確認願います。  
 (φ80~φ100は、エンドカバー鉄製のため、上記確認部品は装着されていません。)
- d. ダストシールバンドを両側とも、マジックで線を引いた部分(約10mm)あたりまでヘッドカバーに差込みます。このとき、ダスト

表2 六角穴付ボタンプルト適性締付トルク

口径	ねじサイズ	締付トルク (N・m)
10		
16-20	M3×0.5	0.3
25-32-40	M4×0.7	0.7
50-63-80-100	M5×0.8	1.5

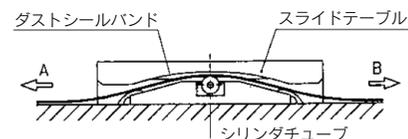


図3

# MY1B Series ダストシールバンド交換要領 ②

シールバンドを両側に引っ張るようにして(図3)シリンダチューブの溝にはめ込むことも同時に行ってください。また、ダストシールバンドのステンレス板は、0.1mmと薄いので、挿入時に曲げ・折れなど発生しないよう取り扱いにはご注意ください。(φ16~φ63)

※MY1B10・80・100のダストシールバンド装着方法は、マグネット方式を採用しています。図5中の $W_1$ ・ $W_2$ のスキマを同じ位になるように取付けてください。その他の作業は、4項と同じです。

- e. ダストシールバンドの浮き上がり等がないように装着後、A側の止めねじ2ヶだけを締付けます。  
この時、締付けすぎによるねじ付近のダストシールバンドの浮き上がりが発生しないよう、調整してください。締付トルクは、0.1N・m (1kgf・cm)が適当です。
- f. ダストシールバンドのたるみを除去するため、移動子を両ストロークエンドまで3・4回往復させてください。
- g. 移動子を必ずB側ストローク端まで戻し、ダストシールバンドが約10mm、ヘッドカバーに差し込まれていることをマジックの線により確認後、B側の止めねじも同じように締付けます。
- h. トップカバーを装着します。
- i. 再び、移動子を数回手で往復させて、ダストシールバンドの浮き上がり・たるみがなければ終了です。

注1)φ10・φ80・φ100用のダストシールバンドは、ステンレス板のみとなり、マスキングテープは覆われておりません。

注2)グリースはリチウム石鹼基グリースの調度1号または2号をご使用ください。

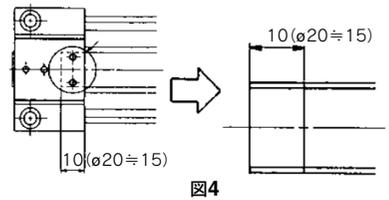


図4

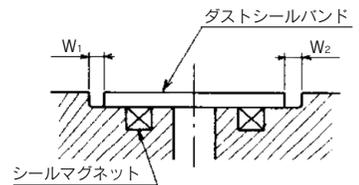


図5

アクチュエータ

モジュラフォーマット  
圧力制御機器

圧縮空気清浄化機器

工業用フィルタ

交換要領

アクチュエータ

モジュラフォーマット  
圧力制御機器

工業用フィルタ